

「第 25 回日本臨床精神神経薬理学会 学会奨励賞」を受賞して

平成 27 年 10 月 29-30 日に東京都で行われた第 25 回日本臨床精神神経薬理学会において、当科の富田哲先生が学術論文奨励賞を受賞されました。

今回の受賞論文は、「**The Influence of 5-HTTLPR Genotype on the Association between the Plasma Concentration and Therapeutic Effect of Paroxetine in Patients with Major Depressive Disorder** (邦題：うつ病患者のパロキセチン血中濃度と治療効果の関係における 5-HTTLPR 遺伝子多型の影響)」というものです。これは 2014 年に **Plos One** に掲載されたもので、患者さんのセロトニントランスポーターの 5-HTTLPR 多型によって、抗うつ薬パロキセチンの血中濃度と有効性が逆転すること示したものです。これにより、遺伝子型によって適切な薬物治療の仕方が変わってくる可能性が示唆されました。

今後のさらなる研究により、患者さん毎に個別化されたより適切な治療の確立が期待されます。



(左から) 受賞した富田哲助教と古郡規雄准教授